

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 キッズゆうゆう		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 15日		～ 令和8年 1月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 15日		～ 令和7年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児・保護者・職員との関係が密接(距離が近い)。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児、保護者それぞれに対して、定期面談を実施。 ・アニマルセラピー ・保護者会 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していく。
2	子ども達主体	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりに合わせたプログラム(SST・認知トレーニング・朝と帰りの会の司会等) ・自己選択・決定を促すため、子ども企画を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していく。
3	関係機関・地域に開かれた事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・学校(小・中・高)の行事参加や定期支援会議 ・情報共有ノート・電話を使用した情報と支援方針の共有を実施している。 ・子ども企画、地域交流をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者に発信しても周知がなされていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・発信は、連絡帳・写真付き通信・SNS等で実施しているが、見てくださっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発信回数を増やす。 ・参加型防災訓練等の検討。 ・定期的な発信を心掛ける。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型事業所 キッズゆうゆう

公表日 令和8年2月2日

利用児童数

令和8年1月27日

回収数

5

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	2				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	2				・目・耳を使い情報を伝えております。 例えば、トイレや職員室には使用中の札や使い方・入室の仕方が書かれた看板を設置しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	1	1		・放課後児童クラブや児童館は、現在の対象年齢の活動が少なく、交流が難しい現状です。しかし、社会体験時に出会った子どもたちと交流があります。
保 護 者 へ の 説 明	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	1				・保護者会、定期面談等にて説明をさせて頂いております。又、受給者証更新で受給量や利用者負担額の変動があった場合、面談・電話等の方法でお伝えさせて頂いております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4			1		・保護者会にて実施しております。又、個人で希望・ご相談があった場合、対応をさせて頂いております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	5					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1				

等	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	2			<ul style="list-style-type: none"> ・面談は、定期的に実施。個人でのご相談があれば早期対応しています。 ・子どもたちに関しても面談を実施し、保護者にもお伝えしております。内容につきましては、子どもの希望に応じて、代弁という形を取らせて頂いております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	1			<ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達の際、口頭もしくは文書にてお伝えしております。文書は、文章を短く、絵をつける、ふりがななどを工夫をしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	2			<ul style="list-style-type: none"> ・写真付き通信、ホームページ、SNS等を活用し活動概要をお伝えしております。また、行事予定は文書にて3か月前(保護者会は半年前)からお伝えしております。自己評価につきましては、ホームページにて公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時、保護者会等にて口頭又は文書でお伝えしています。また、ホームページにて公開しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・訓練につきましては、各訓練を年1~2回ほど実施しており、事業所内通信・連絡帳等にてお伝えしています。また、令和8年度よりSNSも活用しますので、よくご覧ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度は、事故は発生しておりません。体調不良等の場合は、病院受診の促しをしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	5				

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	多機能型事業所 キッズゆうゆう				公表日	令和8年 2月 2日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・職員が目が行き届く。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・バリアフリー化にはなっていないが、子どもに合わせた視覚情報を取り入れた設備がある。 ・小部屋に区切られており、それが部屋名が書かれている。必要に応じて自由に使用できる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・子ども達がほっとできる場所 ・いずれの部屋にも冷暖房が設置され、快適に過ごすことができる。 ・サービス提供後、消毒スプレーで消毒している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・個人机や長机が置かれ、必要な時に自由に使用できる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・少人数の職員のため、必要な時にすぐに集まり、必要事項を共有することができる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・定期的に又、臨時的に会議が出来ている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	・岡山県適正化委員会をお願いする。また評価ではないが、一般の方に対して、事業所公開日をもうけている。	・第3者評価はわからないため。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・内部、外部研修を実施している。 ・職員間で情報共有・研修を行っている。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・日常では、子ども個々の支援スケジュールが作成され、掲示がされるので把握できる。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議又は子ども達主催のミーティングにて意見を聞いている。 ・絶えず検討し、改善を図っている。 ・日々、子どもたちの状況に合わせている。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・個々の子どもに対して、その日の振り返りをして助言を与えている。 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの行動をよく観察し、記録に残し、今後の指導に役立てている。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との面談だけでなく、子どもの面談を通して、モニタリングを実施している。 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・こども企画にて自己選択・決定する力が育められるように促している。 ・行動や活動をする時にこども中心となり役割等を決め、主体的に行動する力をつける。 	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な会議・情報共有ノート等で連携をしている。 ・関係機関とよく連携をとり、支援体制を整えている。 	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有ノート・HP等にて実施。 ・各校の教員としっかり連絡を取り、支援体制を整えている。 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・現在、未就学児がいない。今後は対応していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・今後、検討する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・社会体験時に出会った子どもたちとの交流がある。 	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・多くの情報を得るために進んで参加している。 	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の送迎において、保護者にその日の様子等を細かく連絡している。 	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて保護者会や臨時の相談会を行っている。 		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、保護者との面談をしている。 	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		・保護者会を年2回ほど開催し、機会を設けている。 ・子ども企画への参加を呼びかけ、お互いに交流の場としている。	・きょうだい支援は、現在対象ニーズがないため、実施していない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・毎日、連絡帳などを利用して素早く情報をキャッチするように心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・随時、通信により行事や活動の記録を各家庭に届けるようにしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・情報伝達の際、文章を短く、絵をつける、ふりがななどの工夫をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		・子ども企画等にて、一般の方も行事に招待している。(学校の先生、社会福祉学科の大学生、その他関係機関等)	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・HP、通信等にて周知に努めている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	・毎日に「おやつ」については、アレルギーや注意すべき点を配慮している。	・今まで該当する子どもがいない。 ・現在、対象者がいないため。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・その都度、確認している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				